

オリンピア市訪問団・中学生ホームステイ受入事業

～市民交流とホームステイで実現する持続可能な姉妹都市交流～

助成対象事業	姉妹・友好提携記念	文化・芸術・研究	青少年交流	国際会議	その他
--------	-----------	----------	-------	------	-----

日本：愛知県稲沢市

海外：ギリシャ オリンピア市

【事例紹介】

1 交流の概要

本事業は、姉妹都市であるギリシャ共和国オリンピア市から訪問団および中学生 計 11 名を受け入れ、歓迎会やホームステイを中心とした交流を実施したものである。

訪問団・中学生は稲沢市役所を表敬訪問し、両市の長年にわたる友好関係を再確認するとともに、市内および近隣地域の施設や観光名所を視察し、日本の伝統や文化に触れる機会を設けた。

また、市民との交流機会として歓迎会を開催し、文化紹介や体験を通じて相互理解と親睦を深めた。さらに、中学生は市内家庭において 3 泊 4 日のホームステイを行い、日本の家庭生活を体験することで、実践的な異文化理解を深めた。

2 交流の背景とこれまでの経緯

稲沢市とオリンピア市は、ともに長い歴史と文化を有する都市であり、歴史遺産の存在や平和への理念、伝統行事など多くの共通点を有している。こうした背景のもと、1987 年に姉妹都市提携を締結し、以来、継続的な交流を重ねている。

これまで、訪問団の相互派遣や中学生による聖火リレー参加など、さまざまな事業を実施し、友好関係を深めている。

さらに、2025 年の大阪・関西万博を契機として国際交流の重要性が高まる中、本市においてもオリンピア市との関係を一層発展させることを目的に、本事業を実施した。

3 事業の内容

オリンピア市からの訪問団および中学生 計 11 名を受け入れ、以下の事業を実施した。

- ・稲沢市役所への表敬訪問
- ・愛知啓成高等学校（市内高校）訪問・交流
- ・ホームステイ受入家庭参加による歓迎会（浴衣着用・日本文化体験）
- ・市内および近隣地域の施設・観光名所の視察
- ・SUP 体験・見学
- ・市内家庭での 3 泊 4 日のホームステイ
- ・ホームステイ報告会 など

（次頁に続く）

市役所表敬訪問 一両市の長年にわたる友好関係を再確認—



歓迎会の開催 —浴衣や日本のお祭り気分を満喫—



愛知啓成高等学校での高校生と交流



SUP 体験 —時間を忘れて楽しむ子どもら—



(次頁に続く)

ホームステイ報告会 ―ホームステイの感想を各家庭から報告―



ホストファミリーとのお別れ ―またの再会を願い―



4 事業の成果と評価

本事業により、互いの文化や生活習慣の違いを理解し、異文化交流の意義を実感する機会となった。特に、SUP 体験では、日本・ギリシャ両国の中学生らが協力し合いながら体験する中で、言葉の壁を越えた交流が生まれ、国際交流の成果を象徴する場面が見られた。

また、ホストファミリーからは「短期間で深い絆を築くことができた」などの声が寄せられ、別れの際に涙する様子も見られるなど、交流の充実度の高さがうかがえた。さらに、「次はギリシャを訪問したい」といった意欲的な声もあり、継続的な交流への発展が期待される。

これらの成果から、本事業は一過性の交流にとどまらず、市民レベルでの国際理解の深化および将来に向けた友好関係の強化に大きく寄与した。

5 今後の展望

本事業は、国際交流の意義を実感する機会となり、今後の交流継続に向けた重要な基盤を築いた。特にホームステイは、相互理解と友情を深めるうえで極めて有効な交流となり、生涯に残る経験となった。

今後は、受入家庭とオリンピア市の中学生との間で、相互訪問やオンライン交流等を実施しながら、継続的な交流へと発展されていくことが期待される。

(次頁に続く)

6 まとめ

本事業は、姉妹都市であるオリンピア市との長年の友好関係を基盤に、訪問団の受入および中学生のホームステイを通じて、市民レベルでの交流を実施したものである。

特に、ホームステイや歓迎会を通じて、言語や文化の違いを超えて相互理解を深め、友好関係を築くことができた点は大きな成果である。

また、本事業は次世代の国際感覚の醸成に寄与するとともに、将来にわたる持続的な交流の基盤を形成するものとなった。今後もこうした取組を継続し、両市の友好関係をさらに発展させていきたい。

(作成年月：2026年5月)

※事例紹介に掲載されております人口、面積等の情報は作成年月時で公表された数値です。また、ホームページのリンク先、掲載動画等につきましては、自治体のホームページの更新等によりリンク切れになっている場合があります。